

黒木小スタイルⅠ「単元全体の授業の流れ」

		説明的教材の指導 □:全学年共通, ◇:中学年の力点, ◎高学年の力点
つかむ	第一次	<input type="checkbox"/> 教材への興味づけ <input type="checkbox"/> 説明内容の予想 <input type="checkbox"/> 初めて知ったこと, 疑問に思ったこと <input type="checkbox"/> 意味調べなどの書き込み(自主学習)
わかる・できる (読み取る)	第二次	<input type="checkbox"/> 教材を読み深める <input type="checkbox"/> 「問い」の文と「答え」の文を見つける ◇要点をまとめる ◇文章構成図をかく ◎要旨をまとめる ◎説明のわかりやすさ, わかりにくさについて話し合う。
表現できる	第三次	<input type="checkbox"/> クイズをつくる <input type="checkbox"/> 他の本や文章を読む <input type="checkbox"/> 筆者への手紙を書く ◎筆者の意見について, 自分の考えを書く

		文学的教材の指導 □:全学年共通, ◇:中学年の力点, ◎高学年の力点
つかむ	第一次	<input type="checkbox"/> 教材への興味づけ <input type="checkbox"/> 印象に残った言葉や文についての話し合い <input type="checkbox"/> 作品設定, 表現技法の書き込み(自主学習)
わかる・できる (読み取る)	第二次	<input type="checkbox"/> 教材を読み深める <input type="checkbox"/> 作品の設定をとらえる <input type="checkbox"/> 中心人物を見つける ◇中心人物の心情の変化をとらえる ◎主題文を書く, 主題をまとめる
表現できる	第三次	<input type="checkbox"/> 動作化 <input type="checkbox"/> ペープサート劇, 音読発表会 <input type="checkbox"/> 他の本や文章を読む <input type="checkbox"/> アフターストーリーを考える

黒木小スタイルⅡ「1単位時間の授業の流れ①」(説明文:最初からわたりあり)

学習活動 A学年(2・4・6年) ●留意事項	時間	過程	わたり	過程	時間	学習活動 B学年(1・3・5年) ●留意事項
①復習問題をする。 既習事項を応用・活用した問題を解く。 (①本時に学習する範囲を音読し、意味調べ、段落のキーワード調べなどを行う。)  ●本時に関係する学習内容を復習する。または、前時まで学習した内容を用いて解決できる問題を解かせる。	十分	復習・活用 表現できる		課題把握 つかむ	十分	①問題を理解する。 提示された問題について、読みとるべき内容、学習方法について把握する。  ②めあてをつかむ。 本時の学習のめあてをつかむ。  ●本時の問題解決が説明文を読み取るうえで、どのような力を高めることにつながるのかを押さえる。
②問題を理解する。 提示された問題について、読みとるべき内容、学習方法について把握する。  ③めあてをつかむ。 本時の学習のめあてをつかむ。  ●本時の問題解決が説明文を読み取るうえで、どのような力を高めることにつながるのかを押さえる。	十分	課題把握 つかむ		自力解決 わかる	十分	③ガイドの指示により、問題に対する自分の考えを書き表す。  ④ガイドの司会で、それぞれの児童の意見を伝え合う。 ④ガイドの司会で、グループで考えた意見をまとめる。  ●ノートやワークシートに書かれたことを発表するだけでなく、黒板に記録させたり、文カードを操作させるなどの工夫をする。
④ガイドの指示により、問題に対する自分の考えを書き表す。  ⑤ガイドの司会で、それぞれの児童の意見を伝え合う。 ⑤ガイドの司会で、グループで考えた意見をまとめる。  ●ノートやワークシートに書かれたことを発表するだけでなく、黒板に記録させたり、文カードを操作させるなどの工夫をする。	十分	自力解決 わかる		全体確認 できる	十分	⑤教師と児童の対話を中心として、読みとったことの確認をするとともに、「説明文の読み方」の中で何ができるようになったのかを確認する。  ●説明内容の理解だけではなく、説明方法や論理のよさを感じ得できるようにする。
⑥教師と児童の対話を中心として、読みとったことの確認をするとともに、「説明文の読み方」の中で何ができるようになったのかを確認する。  ●説明内容の理解だけではなく、説明方法や論理のよさを感じ得できるようにする。	十分	全体確認 できる		まとめ・練習 表現できる	十分	⑥本時で読み取ったことの振り返りを行い、既習事項を応用・活用した問題を解く。
⑦本時の学習で「わかったこと」「できるようになったこと」などを異学年の児童に伝える。	五分	ふりかえる (交流)		ふりかえる (交流)	五分	⑦本時の学習で「わかったこと」「できるようになったこと」などを異学年の児童に伝える。

1 本単元で重点的に育成する国語の能力（重点指導事項）

- ◎【3年】文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。…（C「読むこと」オ）
- ◎【4年】段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。…（C「読むこと」ア）

【 第3学年 】

2 単元名

「二 読んで、感そうを伝え合おう」  
 教材文「自然のかくし絵」

3 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の以下の内容を受けて設定したものである。

C 読むこと

(1) 指導事項

ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。

ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

(2) 言語活動例

ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。

本単元では、低学年で学んだ「時間や事柄の順序に沿って文章の内容の大体をとらえること」を受けて、昆虫の身の隠し方を読み取り、感想を伝え合う活動を通して、だいたいな言葉や文に着目して段落ごとに書かれている内容を読み取る力をつけることをねらいとしている。

また、教材文「自然のかくし絵」は、昆虫の保護色の役割について具体的な例を挙げて説明している文章である。「昆虫が敵からどのように身を隠しているか」ということを中心に説明されており、だいたいな言葉や文に着目し、段落ごとに書かれている内容をとらえやすく、説明文を読み解く手がかりとなる接頭語や、「問い」に対する「答え」が明確に記されており、文章に書かれていることを正確に読み取る力を高めるのに適した価値ある教材である。

【 第4学年 】

2 単元名

「二 説明のまとまりを見つけよう」  
 教材文「ヤドカリとイソギンチャク」

3 単元について

○単元観

本単元は、学習指導要領第3学年及び第4学年の以下の内容を受けて設定したものである。

C 読むこと

(1) 指導事項

ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。

ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。

(2) 言語活動例

ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。

本単元では、3年生までに学んだ「形式段落ごとに大事な言葉や文に気をつけて読み、内容を正確に読み取ること」を受けて、文章全体における内容面でのまとまり（意味段落）を理解させ、段落相互の關係を読み取る力をつけることをねらいとしている。

また、教材文「ヤドカリとイソギンチャク」は、「問い」と「答え」の關係が3回出てくる文章構成になっており、意味段落を見つけやすい文章だと言える。加えて「まず」「次に」「実は」「では」などの各段落に使われている言葉に着目させることで、段落同士のつながりをとらえやすい構造となっている。とくに、「では」という言葉によって「問い→答え」の述べ方が、どのように連鎖しているのかを把握しやすく、意味段落同士が筆者の主張につながるように書かれていることに目を向けさせるのに適した価値ある教材である。

### ○児童観

本学年の児童は、2年生での説明文を読む活動を通して、説明されている時間や事柄の順序に気をつけて文章の内容の大体をとらえることを経験している。その中で、「問い」と「答え」を見出す力や時間を表す言葉に着目して読む力、そして説明されている事柄がどのように変わっていったかを把握する力が高まってきている。しかしながら、文章に書かれている内容を段落のまとまりでとらえて読み取る力については、これから高めていく段階だと言える。

「書かれている事柄を的確につかむ力」

「時間の順序を表す言葉を判別する力」を把握するためにレディネステストを行ったところ、書かれている事柄を的確につかむことについて、十分満足できる状況の児童は、●人中●人であった。

また、時間の順序を表す言葉を判別することについて、十分満足できる状況の児童は、●人中●人であった。

「読むこと」の学習については、本単元の学習をする前に、2つの文学的な文章教材の学習を済ませている。それらの学習を進める中で、文章中のキーワードに着目して場面や登場人物の変化を読み取り、あらすじにまとめる力が高まり、自分たちで工夫した音読劇を異学年に発表することで相手意識をもって学習を進めることに対する意欲も高まってきている。

### ○指導観

そこで、説明文「自然のかくし絵」の読解においては、読解力としての「段落ごとの内容をとらえながら読む力」や表現力としての「段落ごとに読み取ってまとめたことをもとに感想を伝え合う力」を育てるために、次の具体的な内容を指導する。

- ・段落の要点のまとめ方
- ・「問い」→「問いに対する複数の答え」という構成で述べられていること。
- ・昆虫の身の隠し方について自分なりの感想を持つこと。

さらに、読解力と表現力をつなぐための手立てとして、以下の2点を強調して指導することで、説明文読解の基礎・基本が身につく、根拠をもって自分の感想や意見を述べる力が身につくと確信する。

(1) 用語：「要点」「中心文」「キーワード」について指導し、学習の中で児童が使えるようにする。

(2) 感想を述べるときに、文章中の言葉や一文を「引用」して、昆虫のすごさについて述べさせる。

### ○児童観

本学年の児童は、3年生での説明文を読む活動を通して、形式段落ごとに大事な言葉や文に気をつけながら、「問い」と「答え」の間にいくつの事柄がどのように説明されているのかを正確に読み取る学習を経験してきている。その中で、筆者が「問い」を解き明かすための具体的な方法として「実験」「観察」「調査」「事例」などが「問い」と「答え」の間に配置されていることを認識し、「問い」と「答え」の間の部分を整理して読むことの必要感が高まってきている。また、各段落で繰り返し登場する言葉や文をキーワードやキーセンテンスとして捉え、要点をまとめる際の手がかりとする力も高まってきている。しかしながら、文章全体の内容を段落のまとまりで捉え、何がどのように書かれているかを読み取る力については、これから高めていく段階だと言える。

「段落の中の中心文を捉える力」「問いと答えを正しく判断する力」を把握するためにレディネステストを行ったところ、段落の中の中心文を判断することについて、十分満足できる状況の児童は、●人中●人であった。

また、「問いの文」と「その問いに応じた答えの文」を判断することについて、十分満足できる状況の児童は、●人中●人であった。

「読むこと」の学習については、本単元の学習をする前に、2つの文学的な文章教材の学習を済ませている。それらの学習を進める中で、「会話文」「地の文」「情景」などに着目して場面や登場人物の変化を読み取る力が高まるとともに、「冒頭」「山場」「結末」を意識して文学作品を読もうと自分たちで工夫した音読劇を異学年に発表することで相手意識をもって学習を進めることに対する意欲も高まってきている。

### ○指導観

そこで、説明文「ヤドカリとイソギンチャク」の読解においては、読解力としての「段落どうしの結びつきを考えて読み、文章のまとまりを捉える力」や表現力としての「文章を読んで感想を交流する力」を育てるために、次の具体的な内容を指導する。

- ・段落の要点のまとめ方
- ・「問い」→「答え」の流れで3回繰り返されている構成で述べられていること。（意味段落）

・ヤドカリとイソギンチャクについて自分なりの感想を持つこと。

さらに、読解力と表現力をつなぐための手立てとして、以下の2点を強調して指導することで、説明文読解の基礎・基本が身につく、根拠をもって自分の感想や意見を述べる力が身につくと確信する。

(1) 用語：「意味段落」「問いに対する答え」「要点」について指導し、学習の中で児童が使えるようにする。

(2) 「なぜ、このまとまり（意味段落）が必要なのか。」「なぜ、この順序で述べたほうがよいのか。」を考えさせる。

#### 4 単元の目標

◎段落ごとの内容をとらえながら読むことができる。

#### 5 単元の評価規準

主体的に学習に取り組む態度	昆虫が敵からどのようにして身を隠しているのか、興味を持って読み、進んで内容をまとめたり、感想を発表したりしようとしている。
思考力 判断力 表現力	段落ごとに書かれている昆虫の身の隠し方について、内容の中心となる語や文に着目して読んでいる。
	昆虫の身の隠し方について、驚いたことや不思議に思ったことを発表し合い、互いの感じ方に違いがあることに気づいている。
	驚いたことや不思議に思ったことを、どの段落でそう思ったのかという理由を挙げて感想を書いている。
知識 技能	それぞれの文の中での語句の役割や語句相互の関係に気を付けて、文の構成について理解している。

#### 6 単元の計画（全8時間）

時	○学習内容 ・学習方法
つかむ	1 ○学習課題をつかむ ・題名と写真から内容を想像する ・形式段落を確かめる。・全文通読 ・昆虫のすごさを伝え合うことを確認する
わかる・ できる 読み取る	2 ○「ほご色」とは何かを読み取る ・①②段落からほご色とは何かを読み取る ・要点のまとめ方、感想の書き方を学ぶ ・①②段落を表にまとめる
	3 ○コノハチョウがどのように身を隠すか読み取る ・③④段落から「問い」「答え」の関係をつかむ ・④段落からチョウの保護色について読解 ・③④段落を表にまとめる。
	4 ○トノサマバッタやゴマダラチョウが… ・③段落の「問い」に対する「答え」を見つける ・⑤⑥段落から保護色について読解 ・⑦段落の役割について確認 ・⑤⑥⑦段落を表にまとめる
	5 ○保護色が役立つ場合について読み取る ・⑧～⑩段落の「問い」と「答え」の関係をつかむ。・⑨⑩段落から保護色が役立つ場合を読み取る。・⑧⑨⑩段落を表にまとめる。
	6 ○保護色が役立たない場合について読み取る ・⑧段落の「問い」に対する「答え」を見つける。・⑪段落より保護色が役立たない場合を読み取る。・⑫段落の役割（全体のまとめ）の確認・⑪⑫段落を表にまとめる。
	7 ○自然のかくし絵を読んだ感想を書く ・文章全体から読み取ったことを振り返る ・段落ごとにまとめたことや全体を読んで考えたことをもとにして感想を書く。
	8 ○自然のかくし絵を読んだ感想を4年生に伝える。 ・書いた感想文を用いて、自然のかくし絵の感想を4年生に伝える。 ・4年生からのコメントを聞き、自分の感想をふりかえる。・4年生の「ヤドカリ～」の感想を聞き、コメントを伝える。
表現 できる	

#### 4 単元の目標

◎段落どうしの結びつきを考えて読み、文章のまとまりをとらえることができる。

#### 5 単元の評価規準

主体的に学習に取り組む態度	ヤドカリとイソギンチャクの関係に興味を持ち、何がどのように説明されているのかを読み取ろうとしている。
思考力 判断力 表現力	ヤドカリとイソギンチャクの関係をとらえるために、段落相互の関係を考え説明のまとまりを見つけながら読んでいる。
	文章を読んで感じたことや考えたことを伝え合い、互いの感じ方や考え方の違いに気づいている。
	ヤドカリとイソギンチャクの関係について、教材文から考えた見出しを根拠にして、自分の考えを書いている。
知識 技能	「問い」と「答え」を表す語句や話題を変える語句に着目しながらまとまりをとらえている。

#### 6 単元の計画（全8時間）

時	○学習内容 ・学習方法
つかむ	1 ○学習課題をつかむ ・単元のねらいを確かめる。・筆者について ・形式段落を確かめる。・初発の感想 ・漢字の確認
わかる・ できる 読み取る	2 ○ヤドカリとイソギンチャクの関係を表す言葉を見つける ・全文通読 ・題名から考えたことを出し合う ・なぜ助け合っていると言えるかと問う
	3 ○「はじめ」「中」「おわり」の3つのまとまりにわかる。 ・分け方「話題提示」「説明」「まとめ」の確認 ・3つのまとまりに分ける
	4 ○ヤドカリがイソギンチャクをつけている理由を読み取る ・②段落の問いの確認 ・実験と結果の読解 ・⑥段落の要点をまとめる ・意味段落に見出しをつける
	5 ○ヤドカリがイソギンチャクを自分の貝殻に移す方法を読み取る ・⑦段落の問いの確認 ・⑧⑨段落の確認 ・⑨段落の要点をまとめる ・意味段落に見出しをつける
	6 ○イソギンチャクにとっての利益を読み取る ・⑩段落の問いの確認 ・⑪段落に書かれている利益を読み取り、要点をまとめる ・意味段落に見出しをつける
	7 ○ヤドカリがイソギンチャクの関係をとらえる ・どのように助け合っているかをまとめる ・⑫段落の要点をまとめる
	8 ○筆者がどのように考えを伝えようとしているのかを読み取り、感想を3年生に伝える。 ・文章のまとまりを表形式で整理 ・まとまりや順序のよさを考える ・筆者の論の展開のよさについてコメントする ・感想を3年生に伝える。
表現 できる	

- 7 本時の学習活動 (1 / 8)
- (1) 本時の目標  
○教材文を読む意欲を高め、単元の学習の見通しを立てる。
- (2) 本時で検証すること  
○教科書の写真や題名、学習の手引きを確認ことにより、単元全体の学習の見通しを持つことができるか。

- 7 本時の学習活動 (1 / 8)
- (1) 本時の目標  
○教材文の内容に興味を持ち、学習課題をつかむ。
- (2) 本時で検証すること  
○教科書の写真や題名、学習の手引きを確認ことにより、単元全体の学習の見通しを持つとともに、初発の感想を書くことができるか。

(3) 本時の展開

…間接

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 本時のめあてを確認する。	○ガイドシートを準備しておく。 ○CDの準備をしておく。	○ガイドシートを準備しておく。 ○CDの準備をしておく。
<b>めあて「自然のかくし絵」の学習計画を立てよう。</b>			
○かくし絵・昆虫の擬態の写真を準備する。 <b>◎何がかくれているか、わかりますか。</b>	2 題名と写真から、教材文の内容を想像する。 ・木の枝みみたいな虫がいる。		
<b>○形式段落の始まりは、一字下げになっていることを教えてから聞かせる。教科書P43を参照する。</b>	3 音声教材CDによる判読を聞き（聞きながら形式段落番号をふる）、新出漢字や読み替えの漢字についてドリルやスキルを用いて確認する。		
<b>◎「自然のかくし絵」では、どんなことが説明されているのでしょうか。</b>	4 教科書P43・P44の学習のてびきを参照し、学習課題を確かめ、単元の見通しをもつ。 ・昆虫がかくれていること。 ・かくし絵だから、見えにくい昆虫のことだと思う。	<b>めあて「ヤドカリとイソギンチャク」の学習計画を立てよう。</b>	○写真と題名は、部分的・段階的に見せ、児童の興味・関心を高める。
○意味調べページの作り方について指導（確認）する。	5 分からなかった言葉や表現について、国語辞典を使って調べる。	3 写真と題名から、ヤドカリとイソギンチャクの関係についてイメージを広げる。	<b>◎「ヤドカリとイソギンチャク」では、どんなことが説明されているのでしょうか。</b> ○扉の写真を拡大したものに吹き出しをつけ、どのようなことを言っているか想像させる。
	6 新出漢字や読み替えの漢字についてドリルやスキルを用いて練習する。	4 学習の手引きを参照し、学習課題を確かめ、単元の見通しを持つ。 ・ヤドカリとイソギンチャクが助け合っていること。	○感想を持つための視点を示す。 (おもしろかったのは、ふしぎだったのは、おどろきだったのは、なるほどと思ったのは)
		5 初発の感想を書く。	
		6 書いた感想を伝え合う。	

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿（手立て）
3年	教材文について関心をもち、単元全体の学習活動に見通しを持つことができる。（ワークシート・観察）	かくし絵や昆虫の擬態の写真などの例を準備しておき、関心を高める。	文中の記述を引用したり、写真を示して自分なりの感想を述べることができる。
4年	教材文について関心をもち、単元全体の学習活動に見通しを持つとともに感想をもつことができる。（ワークシート・観察）	○扉の写真を拡大したものに吹き出しをつけ、どのようなことを言っているか想像させて両者の関係に関心を持たせる。	文中の記述を引用したり、写真を示して自分なりの感想を述べることができる。



二 説明のまとまりを見つけよう① 四年 名前 ( )

「ヤドカリとイソギンチャク」 ( 作者・ひっ者 ) 武田 正倫さん

めあて

「ヤドカリとイソギンチャク」の学習のながれをつかもう。

第一問

C Dの音読を聞きながら、形式だん落に番号をつけましょう。全部で⑫だん落です。

**形式だん落：せつめい文の中の文のまとまり。一字下がったところで話が  
変わることをしめしています。**

第二問

「ヤドカリとイソギンチャク」の話を聞いて、おもしろいと思ったことや、ふし  
ぎだなと思ったことを書きましよう。

第三問

次の言葉の意味調べをしましょう。(チームで分け合って調べると早いよ)

さん「しょう	つつく	
たいてい	はがす	
いかにも	かかえる	
とらえる	おしつける	
しきりに	ずいぶん	
ふれる	手あら	
後ずさり	利益	
しくみ	移動	
しびれる	機会	
関係	たがいに	

7 本時の学習活動 (2 / 8)

(1) 本時の目標  
○①②段落をもとに、保護色とは何かを読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること  
○セミやバッタの写真を提示し、保護色の定義について具体的に捉えさせることにより、大事な言葉に気づいて保護色とは何かを読み取ることができるか。

(3) 本時の展開 ……間接

7 本時の学習活動 (2 / 8)

(1) 本時の目標  
○ヤドカリとイソギンチャクの関係を表す言葉に着目し、筆者の考えの大体をつかむことができる。

(2) 本時で検証すること  
○「ヤドカリとイソギンチャクは○○」という型を示すことで、両者の関係を捉えるためにキーワードを文章中から取り出すことができるか。

……直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 本時のめあてを確認する。	○ガイドシートを準備しておく。 ○自分の経験や知識とつなげることで、ヤドカリとイソギンチャクに対する興味・関心を高める。	○ガイドシートを準備しておく。 ○自分の経験や知識とつなげることで、ヤドカリとイソギンチャクに対する興味・関心を高める。
<b>めあて「ほご色」とは何かを読み取ろう。</b>			
○読みの視点として、 ①くり返し出てくる言葉 ②題名とつながりのある言葉 ③だいじだと思ふ言葉や文に気を付けて読むように伝える。	2 読むときの視点を意識して①②段落を音読する。		
○要点をまとめるためのキーワードを抜き書きできるようなワークシートを準備する。	3 ①②段落の内容を捉えて、ワークシートに記入する。 ・文章中のキーワードを抜き書きする。	<b>めあて「ヤドカリとイソギンチャク」の関係を表す言葉を見つけよう。</b>	○本文を読ませる前に、「ヤドカリとイソギンチャクは○○」という型を示したワークシートを配り、両者の関係がわかる言葉にサイドラインを引くことを伝える。
◎ほご色とは、どんな色だと説明されていますか。なるべく短い文で書きましょう。 ○セミやバッタの写真を提示し、保護色の定義について具体的に捉えさせる。	4 ①②で読み取った内容を踏まえて、「保護色」について1文で表す。 ・保護色とは、身をかいくすのに役立つ色のこと。	3 全文を通読し、ヤドカリとイソギンチャクの関係がわかる言葉にサイドラインを引く。	○「ヤドカリとイソギンチャク」は、どんな関係なのでしょうか。 ○「互いに助け合っている」に気づいた子には、まとめの段落に気づいていることを評価し、「なぜ助け合っていると言えるのか」と問いかけ、本文に着目させて筆者の考えを深く読み取るように促す。
◎①②段落を読んで驚いたことや不思議に思ったことを、虫取りをした経験や知っていることとつなげて書きましょう。	5 保護色や昆虫の身の隠し方について驚いたことや不思議に思ったことを、自分の経験や知識とつなげて書く。	4 ヤドカリとイソギンチャクがどのような関係なのかをワークシート(ノート)に書く。 ・仲良し・大好き・いつもいっしょ・なかま・たがいに助け合っている	
	6 感想を伝え合い、今日の学習を振り返る。	5 読み取った両者の関係を黒板に書く。	
		6 次時から筆者の考えがどのように説明されているのかを確かめながら、詳しく読み取っていくことを確認する。	

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿(手立て)
3年	保護色とは何かを読み取り、感想を述べることができる。(ワークシート・観察)	昆虫の擬態の写真などの例を準備しておく、保護色について具体的に捉えさせる。	本文から読み取ったことに加えて、自分の経験や知識を織り交ぜて感想を述べることができる。
4年	ヤドカリとイソギンチャクの関係を表す言葉に着目し、筆者の考えの大体をつかむことができる。(ワークシート・観察)	本文を読ませる前に、「ヤドカリとイソギンチャクは〇〇」という型を示したワークシートを配り、両者の関係がわかる言葉を見つける方法を示す。	文中の言葉や文をいくつか引用し、関連付けながら両者の関係について述べることができる。

自然のかくし絵」 ( 作者・ひっ者 ) 矢島 稔さん

めあて

ほ「色」とは何かについて、読み取るう。

第一問 ①② だん落を**一斉音読**で読んで、ほ「色」のことが書かれている部分にサイドラインを引きましょう。

第二問 ①② だん落の**内よう**を表の上のだんにまともましよう。

第二問 ①② だん落を読んで、**おどろいたことやふしぎに思ったこと**を書きましよう。

だん落書いてあること

ほ「色」についての感そう

①	ふと ( ) ある。	( ) が	を、	や、
②	セミヤバッタは、 ( ) ( ) の色と ( ) ( ) にくい ( ) ( ) の色をしていて、その色は、てきから ( ) ( ) のに役立っている。 ほ「色」とは、 ( ) ( ) の色のことである。			

★内ようをとらえるポイント  
①くりかえし出てくる言葉  
②題名とつながりのある言葉  
③だいたいだと思える言葉や文を見つけて、つなげていきます。

◎感そうを書くポイント  
①文から考えたことを書く。  
②文と写真から考えたことを書く。  
③自分の体けんや、知っていることとつなげて書く。

まとめ

ほ「色」とは、どのようなものか、まともましよう。

ほ「色」とは、 ( ) ( ) のことです。

二 説明のまとまりを見つけよう② 四年 名前 ( )

ヤドカリとイソギンチャク」 ( 作者・ひっ者 ) 武田 正倫さん

めあて

ヤドカリとイソギンチャクの関係を表す言葉を見つけよう。

表現できる 前回の学習で書いた、初発の感想を伝え合いましょう。

第一問

ヤドカリとイソギンチャク」を段落リレー読みで一通り読みましょう。  
★他の人が読んでいる間にヤドカリとイソギンチャクの関係がわかる言葉にサイドラインを引いておきましょう。

第二問

あなたは、ヤドカリとイソギンチャクの関係は、どんな関係だと思いましたか。

私は、ヤドカリとイソギンチャクは、 ( )  
とと思いました。

どこからそう思ったのかと言うと、 ( ) だん落の中に、

「 という言葉があったからです。

もう「っチャレンジ!!」

私は、ヤドカリとイソギンチャクは、 ( )  
とと思いました。

なぜなら、  
からです。

第三問

筆者の武田さんは、ヤドカリとイソギンチャクの関係を、どんな関係だと述べていますか。

筆者は、ヤドカリとイソギンチャクは、 ( ) ( )

と述べています。

どこに書かれているかと言うと、 ( ) ( ) だん落に、

「  
とあります。

★これからは、筆者の考えを確かめながら読んで、みんなで感想を伝え合う学習をします。

- 7 本時の学習活動 (3 / 8)
- (1) 本時の目標  
○コノハチョウがどのように敵から身を隠しているかを読み取る。
- (2) 本時で検証すること  
○「問い」の文の文末表現や「答え」の文の文末表現の基本形を示すことにより、自分で「問い」と「答え」を見つけることができるか。
- (3) 本時の展開

- 7 本時の学習活動 (3 / 8)
- (1) 本時の目標  
○「ヤドカリとイソギンチャク」の文章を「はじめ」「中」「おわり」の3つのまとまりに分ける。
- (2) 本時で検証すること  
○説明文の基本的な構成や、話題を変える語句の使われ方について伝えることにより、話題の変わり目を自分で見つけることができるか。

…間接

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価	指導上の留意点 ☆評価
<p>○ガイドシートを準備しておく。 ◎前回の学習のふりかえりをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて コノハチョウが、どのようにてきから身をかくしているのかを読み取り感想を伝え合おう。</p> </div> <p>◎③段落から、「問い」の文（筆者が読み手におたずねしている文）を見つけましょう。</p> <p>○「問い」の文が基本的に「～でしょうか。」という文末表現で書かれることが多いことを伝える。☆評価</p> <p>○自力解決でつまづいている児童には「写真」と照らし合わせて考えさせたり、「隠れることができるのは何のおかげかな。」と問いかけ、答えの文に目を向けさせる。</p>	<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認かめる。</p>	<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて「ヤドカリとイソギンチャク」の文章を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分けよう。</p> </div> <p>○表形式で3つのまとまりに分けられるワークシートを配る。 ◎「ヤドカリとイソギンチャク」の文章を大きく3つに分けましょう。</p> <p>○「話題提示」「くわしい説明部分（「問い」→「答え」のくり返し）「まとめ」の3つになることを示し、ワークシートの表を線で区切って分けることを伝える。</p> <p>○自力解決でつまづいている児童には、「中」の部分は「問い」→「答え」が連続していることを伝え、見通しを持たせる。 ○「まとめ」の部分の書き出しによく用いられる表現として、「このように」「これらのことから」というものがあることを伝え、つなぎの言葉を手がかりにして、文章の構成を</p>	<p>1 前回考えた「ヤドカリとイソギンチャクの関係」について確認し合い、全文をリレー音読する。</p>
	<p>2 ③④段落を一斉音読する。</p>		<p>2 めあてをつかむ。</p>
	<p>3 「問い」の文を確認する。</p>		<p>3 形式段落番号を確認する。（第1時で、形式段落番号は、記入済み）</p>
	<p>4 コノハチョウがどのように敵から身を隠しているかがわかる文にサイドラインを引く。（自力解決）</p>		<p>4 ワークシートに段落番号を記入し、3つのまとまりに分ける。</p> <p>・「初め」①、「中」②～⑩、「終わり」⑪</p>
	<p>つかむ</p> <p>表現できる</p> <p>つかむ</p> <p>わかる</p> <p>わかる</p> <p>できる</p>		

<p>○表形式のワークシートを配る。</p>	<p>5 ③④段落の内容を表にまとめる。(学び合い) →全員できたら、教師を呼び、表に書いたものを確認する。</p> <p>6 コノハチョウの隠れ方のすごさについて、感想を伝え合う。</p>	<p>←</p> <p>→</p> <p>表現できる</p> <p>表現できる</p>	<p>5 「中」の部分を、さらに3つのまとまりに分ける。</p> <p>6 3つのまとまりを意識して文章構成図を書く。</p>	<p>つかむという着眼を持たせる。☆評価</p> <p>○「中：具体的な説明部分」は、「問い」→「こたえ」という述べ方で、3つのまとまりがあることを伝えて、さらに3つに分けられることを押さえる。</p> <p>○文章構成図の書き方を教える。</p>
------------------------	---	---	---	--

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
3年	コノハチョウが身を隠す方法を正しく読み取り、感想を述べるができる。(ワークシート・観察)	写真と本文を比べさせたり、「何によって」隠れることができるのかを問いかけ、着眼点を持たせる。	文中のコノハチョウの特徴を引用して感想を述べるができる。
4年	本文を3つのまとまりに分けることができる。(ワークシート)	「中」の部分は「問い」→「答え」が連続することを伝える。	3つのまとまりを意識して、自分で文章構成図を書くことができる。



二 説明のまとめを見つけよう 四年 名前 ( )

「ヤドカリとイソギンチャク」 (作者・ひっ者) 武田 正倫さん

めあて

「ヤドカリとイソギンチャク」の文章を「始め」「甲」「終わり」の三つに分けよう。

見通し

◎説明文では、  
「始め」・・・**話題** (何について説明するのか) が示されている部分  
「甲」・・・**話題** について、**くわしく説明している部分**  
「終わり」・・・**これまでの説明をまとめている部分**  
というのべ方で書かれます。

まとめ												まとめ
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	だん落
												内容 (どんなことが書かれているか)



二 説明のまとめを見つけよう 四年 名前 ( )

「ヤドカリとイソギンチャク」 (作者・ひっ者) 武田 正倫さん

めあて

「ヤドカリとイソギンチャク」の文章を「始め」「甲」「終わり」の三つに分けよう。

見通し

◎説明文では、  
「始め」・・・**話題** (何について説明するのか) が示されている部分  
「甲」・・・**話題** について、**くわしく説明している部分**  
「終わり」・・・**これまでの説明をまとめている部分**  
というのべ方で書かれます。

まとめ												まとめ
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	だん落
内容 (どんなことが書かれているか)												

7 本時の学習活動 (4 / 8)

(1) 本時の目標

○⑤⑥⑦段落をもとに、トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の保護色の役割について読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○教科書の写真を提示し、身の隠し方の特徴を具体的に捉えさせて比較することにより、保護色の内容の違いに気づくことができるか。

(3) 本時の展開

…間接

7 本時の学習活動 (4 / 8)

(1) 本時の目標

○「問い」と「答え」の関係をとらえ、ヤドカリがイソギンチャクをつける理由を読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○「なぜなら～からです。」という表現に言い換えさせることで、問いと答えの関係を意識して読み取ることができるか。

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	○ガイドシートを準備しておく。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて トノサマバッタやゴマダラチョウの幼虫が、どのように敵から身を隠しているのかを読み取ろう。</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて ヤドカリがイソギンチャクをつけている理由を読み取ろう。</div>	
○読みの視点として、 ①くり返し出てくる言葉 ②題名とつながりのある言葉 ③だいじだと思ふ言葉や文に気を付けて読むように伝える。	2 読むときの視点を意識して⑤⑥⑦段落を音読する。	○本文を読ませる前に、イソギンチャクをつけている理由がわかる言葉にサイドラインを引くことを伝える。	
○要点をまとめるためのキーワードを抜き書きできるような表形式のワークシートを準備する。 ・⑤⑥段落が、③段落の問いに対する答えになっていることを押さえる。	3 ⑤⑥段落の内容を捉えて、ワークシートに記入する。 ・文章中のキーワードを抜き書きする。	○④⑤段落には、いくつかの実験が書かれていたか。 ○1回目の実験と2回目の実験について、実験方法と実験結果について表形式でまとめる。	
◎トノサマバッタとゴマダラチョウの幼虫の身の隠し方は、どのように違うのでしょうか。 ○セミやバッタの写真を提示し、保護色の定義について具体的に捉えさせる。 ○⑦段落は、③段落の問いに対するまとめであることを押さえる。	4 身の隠し方の違いについて確かめる。 ・⑤自分の体の色が保護色になるような場所を選ぶ ・⑥周りの色に合わせて、自分の体の色が変わる	・(なぜなら)ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝がらにつけることで、敵から身を守ることができる。(からです)	
○⑤⑥⑦段落を読んで驚いたことや不思議に思ったことを、虫取りをした経験や知っていることとつなげて書きましよう。	5 ⑤⑥⑦段落で読み取ったことをもとに、保護色について驚いたことや不思議に思ったことを書く。	○「……るヤドカリ。」という型を提示する。	
	6 感想を伝え合い、今日の学習を振り返る。		

できる  
できる

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体的評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿（手立て）
3年	2種類の保護色の違いを読み取り、感想を述べるができる。（ワークシート・観察）	昆虫の擬態の写真などの例を準備しておき、保護色について具体的に捉えさせる。	本文から読み取ったことに加えて、自分の経験や知識を織り交ぜて感想を述べるができる。
4年	「問い」と「答え」の関係をとらえ、ヤドカリがイソギンチャクをつける理由を読み取ることができる。（ワークシート・観察）	「それで」「することで～のです」といった表現に着目させる。答えの文を「なぜなら～からです。」と言い換えさせる。	「まず」「次に」「実は」という言葉が問いと答えの関係をわかりやすくしていることに気づいている。

7 本時の学習活動 (5 / 8)

(1) 本時の目標

○「問い」と「答え」の関係をつかみ、保護色が役立つ場合について読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○⑧⑨⑩段落で読み取ったことを表形式でまとめて比較することにより、説明されている内容の違いに気づくことができるか。

(3) 本時の展開

7 本時の学習活動 (5 / 8)

(1) 本時の目標

○「問い」と「答え」の関係をとらえ、ヤドカリがイソギンチャクを移す方法を読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○本文とイラストを対比させたり、動作化したりすることで、ヤドカリの行動を順序よく読み取ることができるか。

…間接

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	○ガイドシートを準備しておく。 ○前回と同じく、どこかに問いの文があることを伝えておく。	
<b>めあて 保護色が役立つ場合について読み取ろう。</b>			
○読みの視点として、 ① 3つの段落のどこかに「問い」の文（おたずねの文）があること ② 「～でしょうか。」という文末表現で終わることが多いことを伝える。	2 ⑧⑨⑩段落を音読し、「問い」の文を見つける。	1 ⑦～⑨段落を音読する。（一斉音読・リレー音読）  2 めあてをつかむ。 ⑦段落の問いを確かめる。	◎問いの文は何段落にありましたか。
○⑨:「同じくらいに」という表現から人間をだませれば、鳥やトカゲもだませることを押さえる。 ○⑩: 昆虫の活動時間と体の色の関係について気づかせる。	3 ⑨⑩段落の内容を捉えて、保護色が役立つ場合について読み取る。 ・表形式のワークシートに読み取ったことをまとめる。	<b>めあて ヤドカリがイソギンチャクを自分の貝がらに移す方法を読み取ろう。</b>	○本文を読ませる前に、イソギンチャクをつけていく方法がわかる言葉にサイドラインを引くことを伝える。
◎昆虫は、どんなときに敵から身を守ることができるのでしょうか。	4 表にまとめたものを手がかりに、「問い」に対する答えを確かめる。 ・人間の目をだますことができ、敵から身を守ることができる。 ・じっとしていれば、 5 ⑧⑨⑩段落で読み取ったことをもとに、保護色について驚いたことや不思議に思ったことを書く。	3 ⑧⑨段落を黙読し、ヤドカリがイソギンチャクをつける行動の順序がわかる言葉にサイドラインを引く。  4 ⑧⑨段落に書かれている内容を確認する。 ・カナダのロス博士 ・水槽での観察	◎誰が調べましたか。 ◎どうやって調べましたか。 ○イソギンチャクを付ける順序については、イラストと対比させたり、動作化したりして捉えさせる。
◎⑧⑨⑩段落を読んで驚いたことや不思議に思ったことを、虫取りをした経験や知っていることとつなげて書きましょう。	6 感想を伝え合い、今日の学習を振り返る。	5 ⑨段落の要点を考え⑦段落の問いに対する答えをまとめる。 ・ヤドカリは、イソギンチャクをはがして、自分の貝がらの上におしつける。  6 ⑦～⑨段落の意味段落に見出しを付ける。 ・イソギンチャクをはがして、自分の貝がらの上におしつけるヤドカリ	◎⑦～⑨段落の意味段落には、どんな見出しがつくでしょうか。 ○「……るヤドカリ。」という型を提示する。

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿(手立て)
3年	「問い」と「答え」の関係をつかみ、保護色が役立つ場合について読み取り、感想を述べることができる。(ワークシート・観察)	昆虫の擬態の写真などの例を準備しておき、保護色について具体的に捉えさせる。	本文から読み取ったことに加えて、自分の経験や知識を織り交ぜて感想を述べることができる。
4年	「問い」と「答え」の関係をとらえ、ヤドカリがイソギンチャクを移す方法を読み取ることができる。(ワークシート・観察)	「それで」「することで～のです」といった表現に着目させる。答えの文を「なぜなら～からです。」と言い換えさせる。	イラストとの対比や動作化してとらえたこともふまえて、意味段落に見出しをつけることができる。

二 読んで、感そうをつたえ合おう 三年 名前 ( )

自然のかくし絵」 ( 作者・ひっ者 ) 矢島 稔さん

★今日の読むはんいは、⑧だん落から⑩だん落です。

第一問 ⑧↪⑩だん落を読んで、めあてをみんなでたてましょう。

めあて

第二問

⑧↪⑩だん落の中から「どの文」を見つけて、ぬき出しましょう。

第三問

⑧↪⑩だん落のよう点をまとめましょう。(だん落に書いてあることを短くまとめろ。)(上)

第四問

⑧↪⑩だん落を読んで、おどろいたことや、ふしぎに思ったことを書きましよう。(下)

だん落	短くまとめると (よう点をまとめろ)	感そう
⑧		
⑨		
⑩		

表現「身のかくし方について思ったことを発表しましょう。  
(◎シートをつかって話せた・○シートを読んだ)

二 説明のまとまりを見つけよう 四年 名前 ( )

ヤドカリとイソギンチャク ( 作者・ひっ者 ) 武田 正倫さん

★今日の読むはんいは、⑦だん落から⑨だん落です。

めあて ⑦⑧だん落を読んで、

第一問 二つ目の「問い」を書きましよう。

Red rectangular box for writing the answer to the first question.

第二問

だれが、どのような方法で観察したのですか。

Blue rectangular box for writing the answer to the second question.

第三問

左の絵を見て、ヤドカリの行動を表す言葉をぬき出ましよう。

 <p>①</p>	 <p>③</p>
 <p>②</p>	 <p>④</p>

表現できる【⑦⑧⑨段落のまとまりに見出しをつけましよう。

Red rectangular box containing the text 'ヤドカリ' (Hermit Crab).

ヤドカリ

二 読んで、感そうをつたえ合おう 三年 名前 ( )

自然のかくし絵」 ( 作者・ひっ者 ) 矢島 稔さん

★今日の読むはんいは、⑧だん落から⑩だん落です。

第一問 ⑧↪⑩だん落を読んで、めあてをみんなでたてましょう。

めあて

第二問

⑧↪⑩だん落の中から「どの文」を見つけて、ぬき出しましょう。

第三問

⑧↪⑩だん落のよう点をまとめましょう。(だん落に書いてあることを短くまとめろ。)(上)

第四問

⑧↪⑩だん落を読んで、おどろいたことや、ふしぎに思ったことを書きましよう。(下)

だん落	短くまとめると (よう点をまとめろ)	感そう
⑧		
⑨		
⑩		

表現「身のかくし方について思ったことを発表しましょう。  
(◎シートをつかって話せた・○シートを読んだ)

二 説明のまとまりを見つけよう 四年 名前 ( )

ヤドカリとイソギンチャク ( 作者・ひっ者 ) 武田 正倫さん

★今日の読むはんいは、⑦だん落から⑨だん落です。

めあて ⑦⑧だん落を読んで、

第一問 二つ目の「問い」を書きましよう。

Red rectangular box for writing the answer to the first question.

第二問

だれが、どのような方法で観察したのですか。

Blue rectangular box for writing the answer to the second question.

第三問

左の絵を見て、ヤドカリの行動を表す言葉をぬき出ましよう。

 <p>①</p>	 <p>③</p>
 <p>②</p>	 <p>④</p>

表現できる【⑦⑧⑨段落のまとまりに見出しをつけましよう。

Red rectangular box containing the text 'ヤドカリ' (Hermit Crab).

ヤドカリ



1



2



3



4

7 本時の学習活動 (6 / 8)

(1) 本時の目標

○「問い」と「答え」の関係を踏まえ、保護色が役に立たない場合と保護色の有効性について読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○記述に即して昆虫と敵の様子を動作化させることにより、保護色の有効性について正しく読み取ることができるか。

(3) 本時の展開

…間接

7 本時の学習活動 (6 / 8)

(1) 本時の目標

○「問い」と「答え」の関係をとらえ、ヤドカリについてのイソギンチャクの利益を読み取ることができる。

(2) 本時で検証すること

○岩についてのイソギンチャクとヤドカリについてのイソギンチャクの違いを表にまとめることにより、ヤドカリにつくことで得られる利益を読み取ることができるか。

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>めあて 保護色が役に立たない場合について読み取ろう。</b></p> </div> <p>○読みの視点として、⑩段落が、⑧段落の2つ目の答えになっていること、⑫段落が全体のまとめを示していることをおさえる。</p> <p>○⑪:「ところが」「動いたときなどには」という言葉に着目させ、役立つ場合と対比させながら読み取らせる。</p> <p>○⑫:「このように」に着目させ、問1の答えと問2の答えを踏まえた全体のまとめになっていることに気づかせる。</p> <p>◎昆虫は、どんなときには敵から身を守ることができないのでしょうか。</p> <p>◎⑩⑫段落を読んで驚いたことや不思議に思ったことを、虫取りをした経験や知っていることとつなげて書きましょう。</p>	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。</p> <p>2 ⑧⑩⑫段落を音読し、「答え」の文と「全体のまとめ」を確認する。</p> <p>3 ⑪⑫段落の内容を捉えて、保護色が役に立たない場合や保護色の有効性について読み取る。 ・ワークシートに読み取ったことをまとめる。</p> <p>4 まとめたものを手がかりに、「問い」に対する答えを確かめる。 ・動いたときは、敵から身を守れない。 ・敵は、ちょっとした動きも見逃さない。</p> <p>5 ⑩⑫段落で読み取ったことをもとに、保護色について驚いたことや不思議に思ったことを書く。</p>	<p>1 ⑩⑪段落を音読する。(一斉音読・リレー音読)</p> <p>2 めあてをつかむ。 ⑩段落の問い(3つめの問い)を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>めあて イソギンチャクにとっての利益を読み取ろう。</b></p> </div> <p>3 ⑩⑪段落を黙読し、イソギンチャクがヤドカリについている場合と、ついていない場合のえさのとりかたの違いを表にまとめる。</p> <p>4 それぞれの表にまとめたものを確認し、黒板にまとめる。 ・つかない場合→ほとんど動かない→えさを待つしかない。 ・つく場合→移動できる→えさをとる機会・食べ残しをもらえる</p> <p>5 ⑩段落の要点を考え⑩段落の問いに対する答えをまとめる。 ・イソギンチャクは、ヤドカリの貝がらにつくことで、えさをとる機会がふえ、ヤドカリの食べ残しをもらうこともできる。</p> <p>6 ⑩～⑪段落の意味段落に見出しを付ける。 ・ヤドカリにつくことでえさをとる機会が</p>	<p>○ガイドシートを準備しておく。</p> <p>○前回と同じく、どこかに問いの文があることを伝えておく。</p> <p>◎問いの文は何段落にありましたか。</p> <p>○本文を読ませる前に、主語がイソギンチャクに変わっていることを押さえる。</p> <p>○グループで確認し、黒板に示された表にまとめさせる。</p> <p>◎⑩～⑪段落の意味段落には、どんな見出しがつくでしょうか。 ○「……イソギンチャク</p>

6 感想を伝え合い、今日の学習を振り返る。	表現できる	表現できる	い、えさを取る機会が、えさの食べ残しをもらえるイソギンチャク	ク。」という型を提示する。
-----------------------	-------	-------	--------------------------------	---------------

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
3年	「問い」と「答え」の関係を踏まえ、保護色が役に立たない場合と保護色の有効性について読み取ることができる。(ワークシート・観察)	本文に即して昆虫と敵の関係を動作化させ、保護色の有効性について具体的に捉えさせる。	本文から読み取ったことに加えて、自分の経験や知識を織り交せて感想を述べることができる。
4年	「問い」と「答え」の関係をとらえ、ヤドカリがイソギンチャクを移す方法を読み取ることができる。(ワークシート・観察)	岩についてのイソギンチャクとヤドカリについてのイソギンチャクの違いを表にまとめ、利益に気づかせる。	読み取ったことをもとに、キーワードを順序よくつなげて意味段落に見出しをつけることができる。





7 本時の学習活動 (7 / 8)

- (1) 本時の目標
  - 「自然のかくし絵」を読んだ感想を、どの段落からそう思ったのかを明らかにして書くことができる。
- (2) 本時で検証すること
  - ①～⑫段落で読み取った内容をまとめたものを提示することにより、どの段落から感想をもてたのかを明らかにしながら書くことができるか。
- (3) 本時の展開

…間接

7 本時の学習活動 (7 / 8)

- (1) 本時の目標
  - ヤドカリについてのイソギンチャクを読み取り、⑫段落の要点をとらえることができる。
- (2) 本時で検証すること
  - ヤドカリとイソギンチャクが「助け合っ」ている関係を図で表すことにより、筆者の主張する両者の関係について納得して要点にまとめることができるか。

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	○ガイドシートを準備しておく。 ○ヤドカリとイソギンチャクの関係について考えながら読むことを伝える。	○ガイドシートを準備しておく。 ○ヤドカリとイソギンチャクの関係について考えながら読むことを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて「自然のかくし絵」を読んだ感想を書こう。</div> <p>◎「自然のかくし絵」を読んで、驚いたことや不思議に思ったことを、どの段落からそのように思ったのかを明らかにして感想を書きましょう。</p>	2 ①～⑫段落で読み取った内容や、これまでの授業で自分が書いた感想メモを読み返す。	2 めあてをつかむ。 ⑫段落がまとめである「終わり」に入ったことを確認する。	◎⑫段落の「助け合っ」ている関係について図にかいてまとめてみましょう。
○①～⑫段落で読み取った内容が確認できるよう、内容をまとめたものを提示する。 ①②:「ほご色」について ③～⑦:「こん虫の身のかくし方」について ⑧～⑪:「ほご色が役に立つ場合、役立たない場合」について ⑫:「ほご色と『自然のかくし絵』との関係」	3 ①～⑫段落の内容を段落ごとにまとめたことや、全体を読んで考えたことをもとにして、感想を書く。	3 「イソギンチャクがヤドカリを助けている」こと、「ヤドカリがイソギンチャクを助けている」ことについて図で表してまとめる。	○教師と児童で問答しながら、図にまとめていく。 ・②～⑥:敵から身を守っている(イソギンチャク) ・⑩～⑪:移動してえさをとる機会をふやす、食べ残しをあげる(ヤドカリ)
○感想文のイメージを持たせるため、例文も提示しておく。 「ぼくは、⑩段落に書いてあったことから、長い時間休む場所の色に似た色の保護色になって身を隠している昆虫は、とてもかしこいなと思いました。」	4 自分が書いた感想文が、どの段落からそう思ったのかという点を挙げて書かれているかを確認する。	4 図にまとめたものを確認し、⑫段落の要点を考え、まとめる。 ・ヤドカリとイソギンチャクは、たがいに助け合って生きている。	○⑫段落は、教材文全体のまとめであることを確認する。
◎全員書き終わったら、お互いの感想文を交換して、書かれている感想とどの段落からそう思ったのかがつながっているかを確認合いましょう。	5 お互いの感想を読み合い、感想と根拠(どの段落からそう思ったか)につながりがあるかを確認させる。	5 ⑫段落の主語が「ヤドカリとイソギンチャクは、たがいに助け合って生きている。」	◎これまで読み取ってきた②～⑪段落の主語はだれになっているかを確かめよう。

		→ ■ 表現できる	クは」と両者になっ ているが、他の段落の主 語がどのようになっ ているかを確認する。	にイいになつているかを確 かめましょう。 ②～⑨:「ヤドカリは…」 ⑩～⑪:「イソギンチャク は…」となっていることを 押さえる。
--	--	--------------	---	--

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
3年	「自然のかくし絵」を読んだ感想を、どの段落からそう思ったのかを明らかにして書くことができる。(ワークシート・観察)	①～⑫段落で読み取った内容をまとめたものを提示する。	感想を持った段落を示すだけではなく、その段落の文や言葉を引用して感想を書くことができる。
4年	ヤドカリについてのイソギンチャクの関係を読み取り、⑫段落の要点をとらえることができる。(ワークシート・観察)	ヤドカリとイソギンチャクが「助け合っ て」いる関係を図で表す。	要点にまとめた「助け合っている関係」について自分の言葉で述べる ことができる。



二 説明のまとまりを見つけよう 四年 名前 ( )

ヤドカリとイソギンチャク」 ( 作者・ひっ者 ) 武田 正倫さん

★今日の読むはんいは、⑩だん落から⑫だん落です。

めあて ヤドカリとイソギンチャクの関係を図に表してまとめよう。

第一問

これまでに読み取ったことを手がかりとして、ヤドカリとイソギンチャクがどのように助け合っているのかを図で表しましょう。

表現できる「ヤドカリとイソギンチャクの関係を図で表す。

ヤドカリ

たがいに助け合っている

イソギン  
チャク

7 本時の学習活動 ( 8 / 8 )

(1) 本時の目標

○「自然のかくし絵」を読んだ感想を、どの段落からそう思ったのかを明らかにして書き、4年生に発表する。

(2) 本時で検証すること

○①～⑫段落で読み取った内容をまとめたものを提示することにより、どの段落から感想をもてたのかを明らかにしながら書くことができるか。

(3) 本時の展開

…間接

7 本時の学習活動 ( 8 / 8 )

(1) 本時の目標

○段落相互の結びつきに着目して、筆者の論の展開(のよさ)について考えることができる。

(2) 本時で検証すること

○意味段落を表にまとめたものを提示することにより、「まとめ」と「具体的な説明部分」のつながりや必要性を考えることができるか。

…直接

第3学年		第4学年	
指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価	指導上の留意点 ◎主発問 ☆評価
○ガイドシートを準備しておく。	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。	○ガイドシートを準備しておく。 ○小見出しをカードにしたものを用意しておく。	
<b>めあて「自然のかくし絵」を読んだ感想を4年生に聞いてもらおう。</b>			
◎前回の読み合いの活動を活かして、感想文の手直しや書き加えをしましょう。	2 お互いの感想を読み合い、感想と根拠(どの段落からそう思ったか)につながりがあるかを確認し、感想文の手直しや書き加えをする。	<b>めあて 筆者がどのように考えを伝えようとしているのかを読み取ろう。</b>	
○原稿用紙ばかり見て発表するのではなく、聞き手に目を向けて発表するように伝える。	3 完成した感想文を読む練習をする。	3 なぜ、まとめり⑤を伝えるために、まとめり②③④が必要なのかを考えさせる。	○まとめり②③④の一部が抜けていたり、入れ替わったりしないほうがよい理由を考えさせる。 ◎もし、まとめり口がないと、ヤドカリとイソギンチャクが助け合っているという考えが伝わるでしょうか。
○これまでの音読活動や対話活動で、聞き手に目を向けて伝えられたことを想起させる。		・まとめり④がないと、イソギンチャクが助けている説明だけになってしまい、助け合っているという考えとつながらない。	○「まとめり口がないと、～につながりません。なぜなら…」などの説明の仕方を示す。
		4 筆者の論の展開のよさを自分の言葉でまとめる。	○筆者の説明の仕方がよいものとして、自分の考えをまとめることをおさえる。
	4 4年生に「自然のかくし絵」の感想を発表する。	5 3年生の発表を聞いて、コメントする。	◎3年生が自然のかくし絵の感想を発表するの

		→ ■ 表現 できる	じ、よかつにこしつをコメ ントしてください。
--	--	------------------	---------------------------

(4) 本時の評価

	学習活動における 具体の評価規準	努力が必要と判断する 児童への手立て	十分満足できると 判断する児童の姿 (手立て)
3年	「自然のかくし絵」を読んだ感想を、どの段落からそう思ったのかを明らかにして書き、4年生に発表する。(ワークシート・観察)	①～⑫段落で読み取った内容をまとめたものを提示する。	感想を持った段落を示すだけではなく、その段落の文や言葉を引用して感想を書くことができる。
4年	段落相互の結びつきに着目して、筆者の論の展開 (のよさ) について考えることができる。(ワークシート・観察)	意味段落を表にまとめたものを提示することにより、「まとめ」と「具体的な説明部分」のつながりや必要性を考えさせる。	表を手がかりとして、説明部分のまとまりの一部が抜けたり、入れ替わったりしないほうがよいことを自分の言葉で説明することができる。



「ヤドカリとイソギンチャク」 (作者・ひっ者) 武田 正倫さん

めあて

筆者が、どのように考えを伝えようとしているのかを読み取る。

見通し

内容のところに、これまでの学習で考えた、小見出しを書きこみましょう。そして、筆者がどのようなじゅんじょで考えを伝えようとしているのかをつかみましょう。

説明の まとめ	問い③ 「」		問い② 「」			問い① 「」					話題提示	まとめ	
	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2			1
ヤドカリとイソギンチャクは、たがいに助け合っている。												内容 (どんなことが書かれているか・小見出し)	だん落
おわり	なか										はじめ		